

# 第3回交流会 ～モビリティ×インフラメンテナンス～

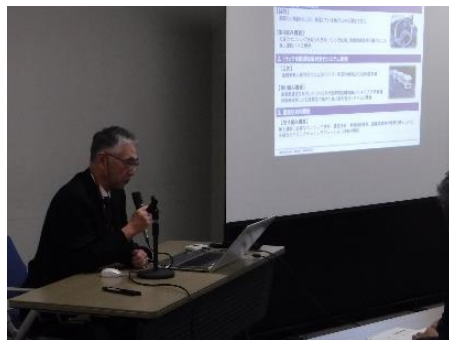
- 10月27日、インフラの老朽化問題の解決に意欲的な企業などを対象として人的交流の促進を図る交流会を開催しました。
- 今回は、「超スマート社会」におけるインフラメンテナンスを念頭にモビリティ事業者をお招きしショートプレゼンを頂き、個々の取組のご紹介の中から「**超スマート社会**」における**インフラメンテナンスの未来像や新たな課題**を窺い知ることができ、改めて**本交流会の参加者自らが「超スマート社会」におけるプレイヤー**であることを共有しました。
- 交流会終了後には懇親会を実施し、普段交流の機会が少ない異業種間でのインフラメンテナンスに関する意見交換が行われました。

## 開催概要

<p>〈プログラム〉（10月27日（金）16:00～18:00）                  ショートプレゼン、パネルディスカッション、本日のまとめ</p>	<p>〈参加者〉                  71名（国民会議会員、事務局（実行委員、広報部会委員、国土交通省））</p>
---	--

## ショートプレゼン

先端技術を活用したモビリティに関係する事業に取り組み各者より個々の取組を交えながら今後のインフラメンテナンスへの展望や期待をプレゼン頂きました



**MMSが実現する Society5.0の世界**

三菱電機株式会社 社会システム第二部 課長 小林 弘幸 氏

**自動運転バス・トラック におけるインフラへの期待**

先進モビリティ株式会社 代表取締役社長 青木 啓二 氏

**モビリティ×インフラメンテナンス における『データの品格®』とは**

株式会社富士交通・道路データサービス 代表取締役社長 島田 孝司 氏

## パネルディスカッション

国土交通省 総合政策局 鈴木事業総括調整官をパネリストに加え議論しました



「三次元データを世界に広げ、共通化を進めたい」  
 「自動運転特有の損傷があるかもしれない」  
 「データの精度をいかに保つかが重要」  
 「中小の自治体にいかに浸透させていくか」